

### 令和 4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	原村スケート文化伝承・発信プロジェクト	
事業主体 (連絡先)	一般社団法人八ヶ岳総合スポーツクラブ 090-7019-9764	
事業区分	(3)教育、文化の振興	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	488,710 円 (うち支援金 :	366,000 円)

#### 事業内容

スケート文化の伝承・発信に向けて、原村でスケートが発展した歴史や地域の気候・風土がこれに大きく影響していること、また、長野冬季オリンピックをはじめとした数多くの国際大会・国内主要大会で原村出身の選手が活躍したことが原村のスケート文化が根底にあることについて理解を深めることを目的にセミナーを開催した。あわせて、伝統スポーツとしてスケートへ取組み健康増進を目的としたスケート教室を開催した。

- ・原村スケート歴史文化、交流セミナー
- ・スケート教室の開催 (計 3 開催)

#### 事業効果

- ①原小学校校庭の天然リンクの存続は毎年議論に上がるが、歴史文化の継承という意味でも、受け継いでいこうという若者がスケート専門部 (リンク管理指導者) へ 4 名入会した。
- ②生涯スポーツとしてスケートへ取り組む人が増えたことを実感している。
- ③年々各地域のスケート競技人口は減少している中、原小学校スケートクラブは、今年度増加しており、クラブ人数 (30 名) は、長野県内の小学校で最多人数になった。

#### 今後の取り組み

来年度以降も継続してスケート教室や交流セミナーを開催し、引き続きスケートの普及活動を展開していきたい。また、諏訪郡出身で平昌オリンピック金メダリストである小平奈緒さんがスケートを通じた地域活性化と、子供たちの成長、チャレンジする精神を広げる活動をしており、今年度は、原村村民に向けた、スケート教室、講演会を開催した。引き続き連携を図りながら効果的な普及を図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【スケート教室の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ① スケート歴史文化の継承
- ② スケートを通じて健康増進
- ③ スケート競技人口の増加

※自己評価 【 B 】

#### 【理由】

コロナ渦において、人数制限、状況によっては開催中止を余儀なくされたが、原小学校スケート部員、新入部員 10 名。(昨年 3 名) 等、啓蒙されていることは実感できた。